

台詞課題 〈ミュージカル「BOY FRIEND」より抜粋〉

ポリー 私はここにいるパーシバル・ブラウンの一人娘なんです。父の厳しい教えで、私にはボーイフレンドがいませんでした。私に言い寄ってくる男性は、みんな財産目当てだと思っていたからです。だから私には今日のパーティーで一緒に踊ってくれる男性がいませんでした。そのことをみんなにちゃんと見えなかった。パリから車で彼が来るなんて嘘をつきました。きっと恥ずかしかったし、悔しかったんだと思う。みんなごめんなさい。

中略。

ポリー そこにトニーが現れたの。私も一瞬で彼が好きになったわ。パリから素敵な男性が私のもとにやってきたって、本当に夢みたいで…、だからビーチで、あなたが私のこと本当に分かってくれた事がわかって、とつても嬉しかった。わたしもあなたの考えに賛成だった。お金じゃなくて、お互いを思いやる静かな暮らしに憧れた。わたしもパーティーが終わった後で全部打ち明けるつもりだったの。でも、あなたが突然いなくなって、やっぱり私の財産目当てだったんじゃないかって…。疑って、本当にごめんなさい。